

科目名: 様々な感覚と学習の疑似体験 ～脳の多様性を知る～

氏名 大空倫子

【講義のねらい】

私たちの脳は、情報の受け取り方や処理の仕方にひとりひとり異なる特徴を持っています。本講義では、物理的なシミュレーションを通じて「情報の感じ方や整理の仕方が異なる世界」を疑似体験します。困難さを、単なる本人の努力不足や能力の問題とせず、脳の処理の仕組みの違いとして客観的に捉えます。この体験を通じ、ひとりひとりの脳の特性を尊重し、誰もが本来の力を発揮しやすい環境を作るための工夫を具体的に考えます。

【講義概要】

○ はじめに

・世界は等しく見えているのか？ 聞こえているのか？

・感覚の過敏・鈍麻と脳の仕組み

○ 体験ワーク

・聴覚処理困難の疑似体験

・触覚の過敏さ体験

・ワーキングメモリ負荷の体験

・読譜や演奏困難の疑似体験

・シングルフォーカスの疑似体験

○ 共有・ディスカッション

・ひとりひとりが力を発揮するための工夫を話しあう

○ まとめと質疑応答

【教科書(テキスト)】

資料を配布

【参考文献】

講義内で適宜紹介